

SCOS

scos の未来チャート

scos の未来チャート (H260825)

チャートは英語で chart 海図のこと。来たるべく未来に備えて温故知新、様々な「もの」や「こと」から未来の scos への指針を研究します。

発行 2014 年 8 月 25 日

著者・デザイン 寺村栄次 寺村良子

(scos / スコス ステーションナリーズ・カフェ)

発行者 寺村栄次

発行所 メイクユアプレイス株式会社

東京都文京区本郷 5 - 1 - 5・1 階

TEL 03-3814-7961

FAX 03-3814-7962

www.scos.gr.jp/open.htm

デジタル (PDF)

(c) Eiji Teramura , Yoshiko Teramura , MAKE YOUR PLACE CORPORATION
2014

文章、写真、イラスト等は個人使用の為に提供されるものであり商用目的に提供するものではありません。また、許可なしに本作の二次転用、及び、全文複製、配布を行うことを禁じます。本内容は著者個人の見解であり、メイクユアプレイス（株） scos / スコス の見解をあらわすものではありません。[免責事項] このコンテツをご使用による技術的、不具合に関しましてはお応えできません。



蛍光ペンペン

20年～30年前の高校生か大学生の頃に購入したセーラーの蛍光ペン（黄緑色）。購入場所は不明。ボディとキャップの全てがプラスチック軸で透明無地。中のインクの上に SAILOR CARTRIDGE WATER BASE - MARKER MADE IN JAPAN と記載されています。

当時、無印良品などの不要なものを削ぎ落とした「シンプルなもの」が世の中に登場してきた時代なので、その流れを汲んだデザインだと思います。軸の全てが透明なので液体の泡立ちまでよく見えます。軸は固めで現在でも結構な透明度を維持しています。古いものなのに劣化があまりみられないのは良い素材を使用しているからかもしれません。当時は私たち団塊ジュニアがじゃんじゃんと文具を消費するし、パソコンの普及もなく会社も手書き若しくはワープロ書院程度だと思うので文房具全盛期の時代だったのではないのでしょうか。

このペンの魅力は太軸の中に大きくて太いインクカートリッジが入っていて軸を開けると大きなインクカートリッジが「ノソッ」と現れることです。このインクカートリッジは固定式か取り替え可能かは不明です。インクのボディもやわではなく強固にできています。当時、私の周りではスケルトンの商品が珍しく、又、外国製品のようなデザインとこの存在感が気に入って使用せずに現在まで未使用で保管していました。

インクはペイントマーカーのようにペン先を押し込むことでインクが浸透して使用できます。ペンは逆さにすると「カラン」と音があるのでインク攪拌用のボールも入っております。

<スペック>

長さ：126mm

直径：17mm

重さ：24g

この製品の魅力は、古い製品ですが今見ても古さを感じさせないデザインです。また、印刷のフォントもパソコン・フォントではなく、手書きのゆらめき感のあるレタリングで味があります。昔、ビデオテープやカセットテープにレタリングのシールを貼ったり、POWER MAC でオタクなオリジナルフォント作りが流行りましたが、脱PCフォントの時代が来るかも。